

Sky House (スカイハウス)

ネットゼロ・レークサイドホーム

Stoney Lake, Ontario, カナダ
290 m²

2017年10月完成

デザイナー:
Julia Jamrozik and Coryn Kempster

総合建設業:
Timberline Custom Homes

構造エンジニア:
Jim Thomson

ランドスケープデザイン:
Gray Landscape Construction

フォトグラファー:
Doublespace Photography

レークサイドの急こう配のある地形とうまく合わせながら、このホリデーハウスには互いに積み重ね合う2つの体積から成り立っています。下部体積はランドスケープに埋もれ、最初ハウスに近づいてもほとんど見えません。上部体積は下部とコンクリートの埠頭に橋と梁の両方から載っています。このボリューム感ある戦略により、サイトまでのアクセスと浸透性を増し、建物と地面の間にある委ねられた関係を強化します。

上部体積に生き生きした空間があり、ハウスベッドルームのある下部体積がより閉じられる分、湖に開かれています。障害のあるゲストに向けたアクセスの良さの必要性に応じ、同時にクライアントの末永く建物を利用できることを考え、スタディ/ベッドルームとアクセスのよいバスルームがメインレベルに提供されています。下部のルーフはテラスとなっており、全体が見渡せ生き生きした空間に直接つながっています。

ファクトリーインスパイアの天窗が回転し、熱取得せずにソーラーパネルを適用しながら北の光が差し込みますので、ハウスはそれ自体のパワーから全て自家発電可能です。ルーフとガラス張り正面にある垂直モニターの組み合わせが内部を豊かに日光で満たします。覆われたウォークウェイが夏の太陽からガラス張りの

メインウォールに陰を与え、日の出ない冬には暗く染まったコンクリートフロアに受動的に温もりを与えます。

シンプル、メンテナンスに手間がかからず、長持ちする材料が、反射するシームメタルルーフ正面や押さえられた熱処理（石化）木製クラディング等に利用され、インテリアは無ホルムアルデヒドのベニヤ板が並べられています。遊び心いっぱいの要素が、木製ストーム用ガラス張りのブリック台座から散りばめられたカラフルなコートフックやカスタム聖堂地下室の揺れるベンチにまで敷き詰められています。

Julia JamrozikとCoryn Kempsterはカナダのデザイナー、アーティストそして教育者であり、2003年よりコラボを組んでいます。彼らは空間、オブジェ、非常に魅力ある遊び心ある方法で普通さを遮るシチュエーションを作り上げる努力をしています。

JuliaはBuffalo SUNY大学の建築科の助教授であり、Corynは助教授助手です。